

資料11-1

本審査に向けた活動方針について

がんばろう  日本
Pray For Japan

2011年 3月11日 東北地方太平洋沖地震

平成23年7月7日 第11回 豊島区セーフコミュニティ推進本部

●全体的な評価

1.セーフコミュニティの理解

➤セーフコミュニティの理念を正しく理解し、「6つの指標」に基づいた活動を進めている。

2.地域課題を踏まえた活動

➤直面する少子高齢化やコミュニティの希薄化、さらに大都市ならではの地震災害や繁華街など、豊島区固有の課題に取り組んでいる。

3.科学的手法の活用

➤様々なデータをしっかりと調査・収集し、科学的な原因分析を行っており、非常に優れている。
➤課題もあるので、さらに改善を加えてほしい。

4.区民との連携・協働

➤幅広い区民が利用する「地域区民ひろば」をセーフコミュニティの拠点としていることは、大都市のモデルとなる特徴的な取り組みである。

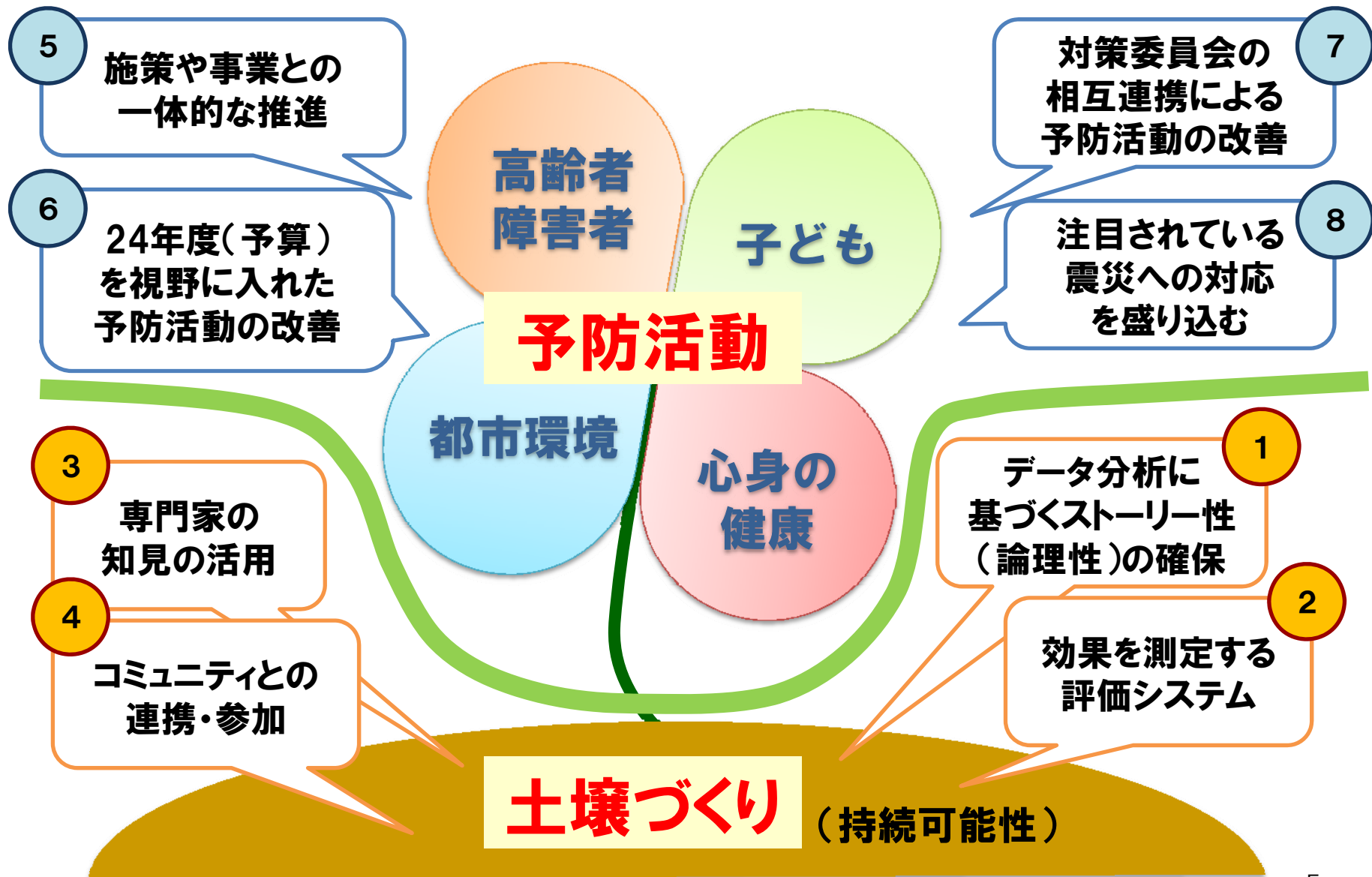
●対策委員会に対する主な指摘事項(その①)

テーマ	意見
高齢者の安全	・データを活用し、セーフコミュニティのプロセスを踏まえている。
障害者の安全	・データを使い課題把握から効果検証まで包括的に示されている。 ・計画段階からの当事者参加は意義がある。
子どものけが・ 事故予防	・けが等の状況や予防策が明示され、理解できた。 ・プロセス評価とアウトカム評価の整理が必要だ。
児童虐待の防止	・さまざまな方法を活用して、虐待の実態把握に努めてほしい。
学校の安全 (セーフスクール)	・PTA、教師、子どもとの情報・知識の共有が足りない。 ・PTAに触れられていない。保護者が関わる仕組みが必要だ。 ・プロセス評価とアウトカム評価の整理が必要だ。
自殺・うつ病 の予防	・ゲートキーパーが増え、専門治療につなげていければよい。 ・どれだけ自殺者が減ったか本審査で確認したい。

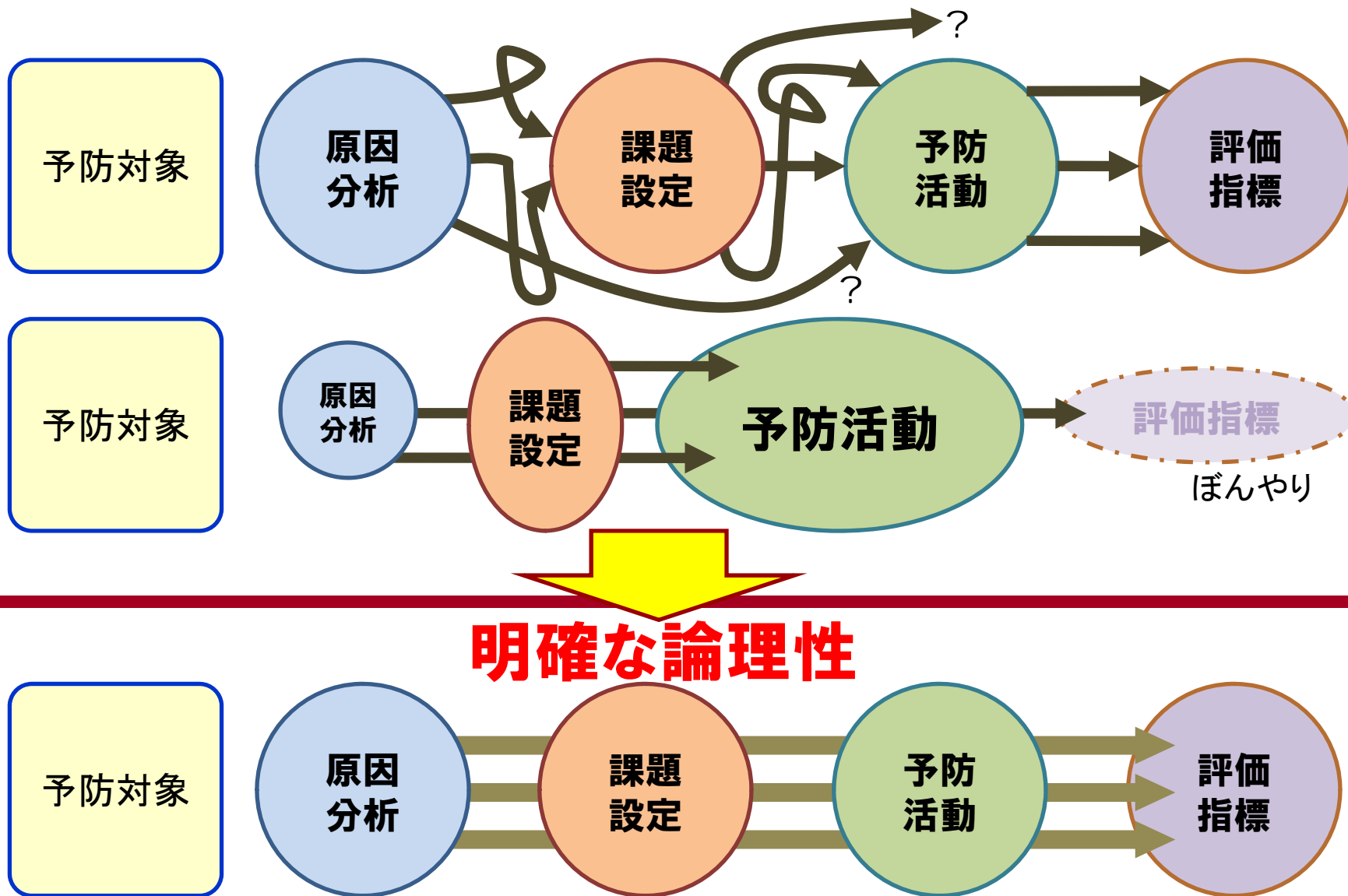
●対策委員会に対する主な指摘事項(その②)

テーマ	意見
自転車利用の安全	<ul style="list-style-type: none">・現状分析、課題設定、対応策が明確で、論理的だ。・本審査ではヘルメット着用率の増加を期待している。
繁華街の安全	<ul style="list-style-type: none">・課題・対策・効果が体系的かつ簡潔・明瞭に説明されている。・セーフコミュニティ取組み後の変化を明示した点を評価する。
地震災害の予防	<ul style="list-style-type: none">・情報が多く、すべてを理解しきれない。・あらゆる視点から地震対応を考え、大変心強い内容だ。
外傷 サーベイランス	<ul style="list-style-type: none">・よく計画され、システムも明確で、軽微なものから重篤なものまでカバーできている。
地域区民ひろば	<ul style="list-style-type: none">・セーフコミュニティとの関連づけは、大都市モデルとなり、特徴的で素晴らしい取組みだ。

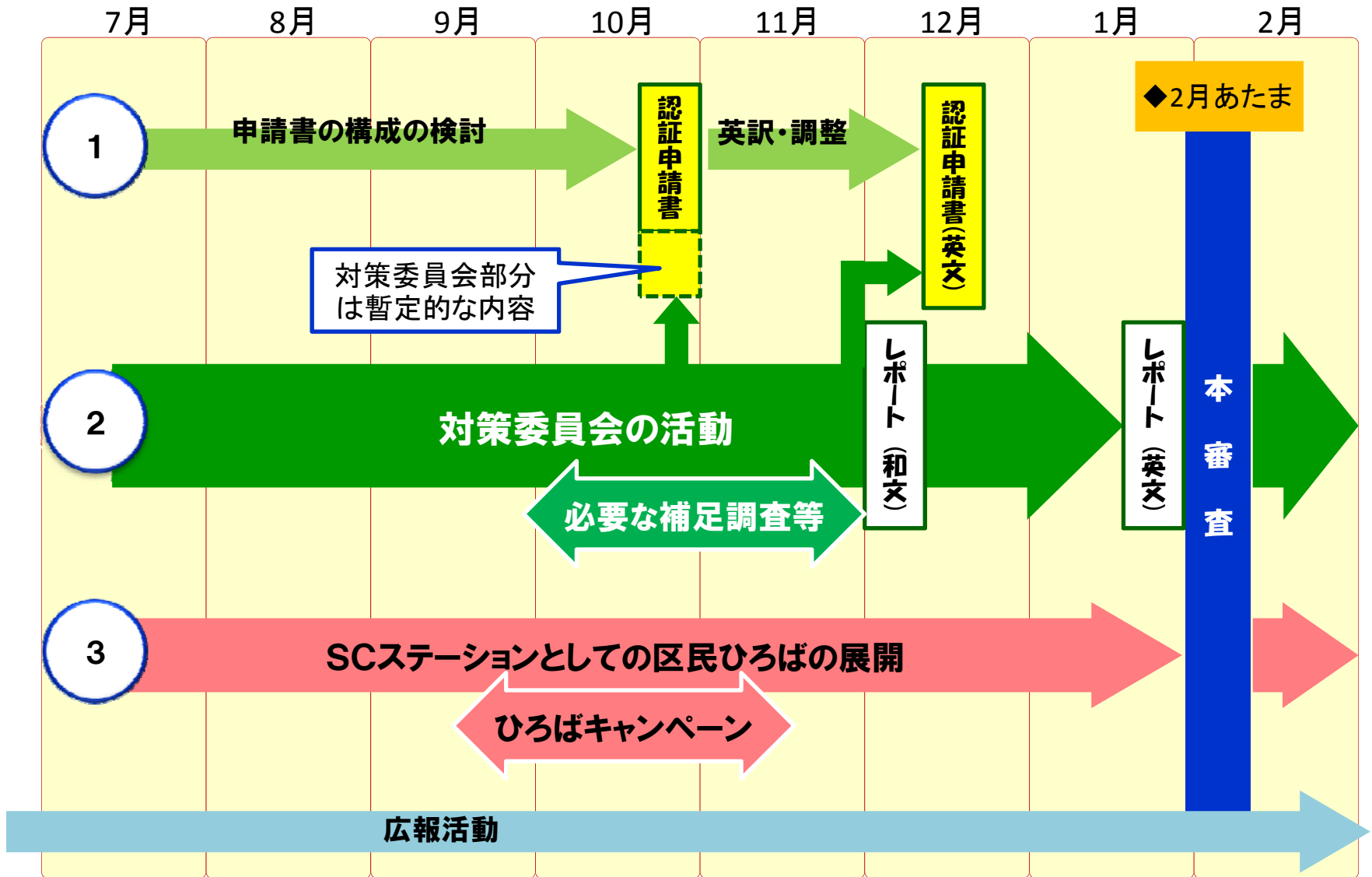
●本審査に向けた改善のポイント



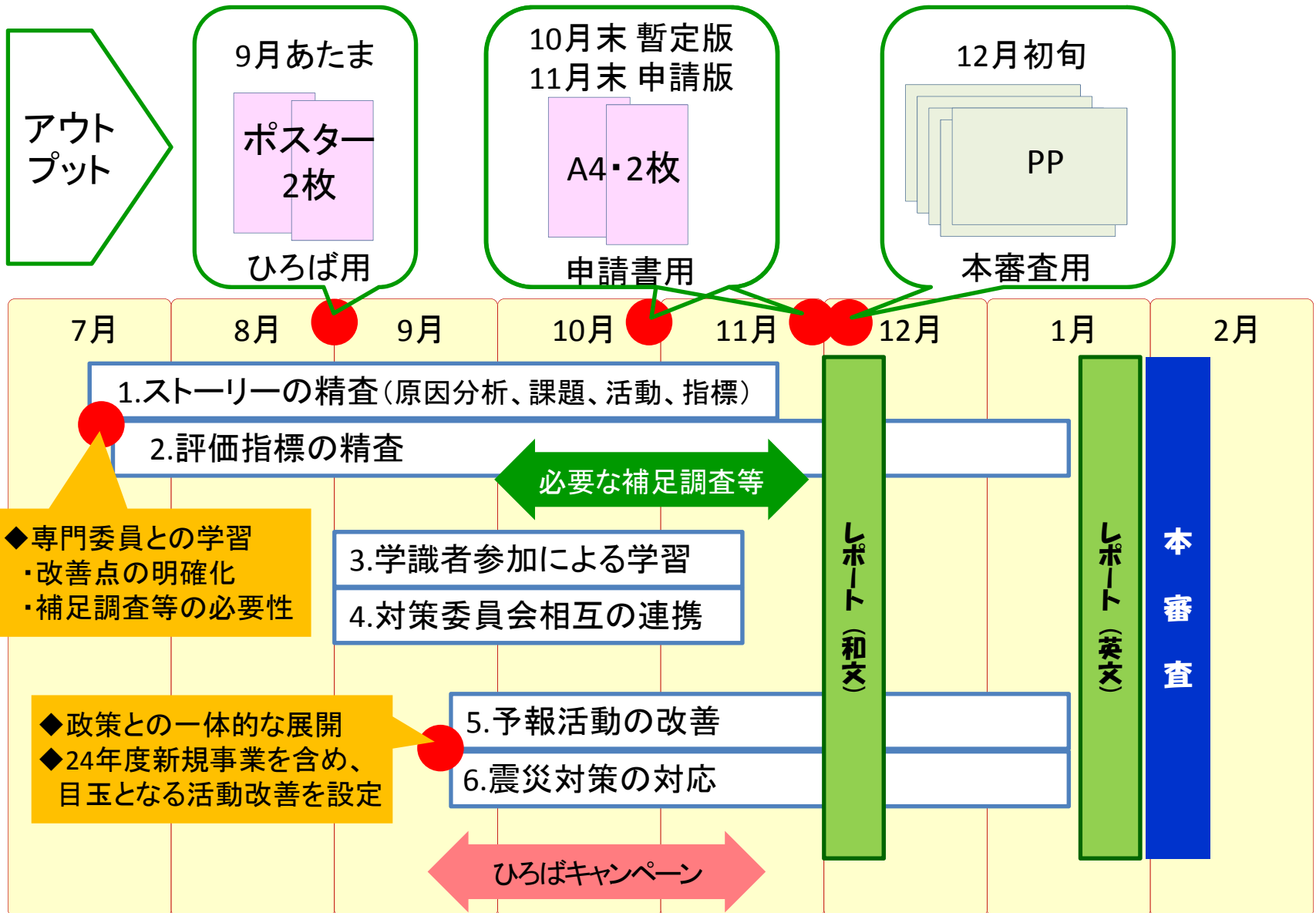
●ストーリーの流れを点検し、より分かりやすく



●本審査までのスケジュール



●対策委員会 … 一步前進した姿を示す



●本審査に向けた「区民ひろば」等の展開

1.SC対応「区民ひろば」の拡大

- モデル地区である「池袋本町」と「上池袋」の取り組みを踏まえ、順次、すべての「区民ひろば」に拡大
- 当面、本審査に向けて機能拡充する地区を決定し、具体的な準備を推進

2.安全・安心機能の強化

- 重点テーマの事業と連携した、講座・事業等の充実
- セーフティプロモーション事業の実施(NPOとの連携)
- 安全・安心に関する情報提供の更新方法の検討

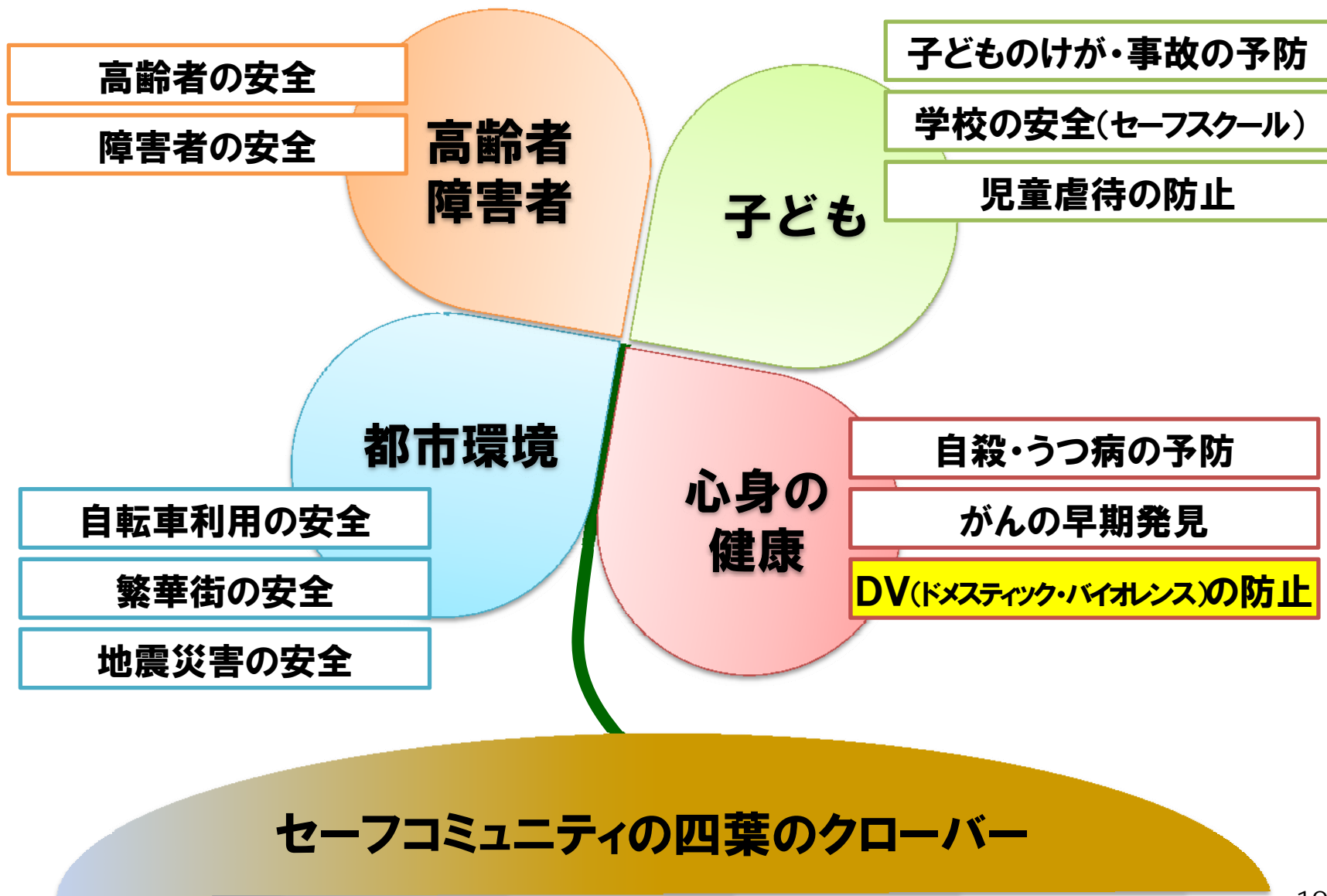
3.キャンペーンの実施（9月中旬から2か月間程度）

- 区長による「区民ひろば運営協議会」への説明会開催
- プロモーション映像(DVD)の制作
- 対策委員会のパネル展などSC啓発事業の実施

4.北池袋地区の地域協議会におけるWSの継続



●「DV」を新たなテーマとして設定



●国際化施策の整理について

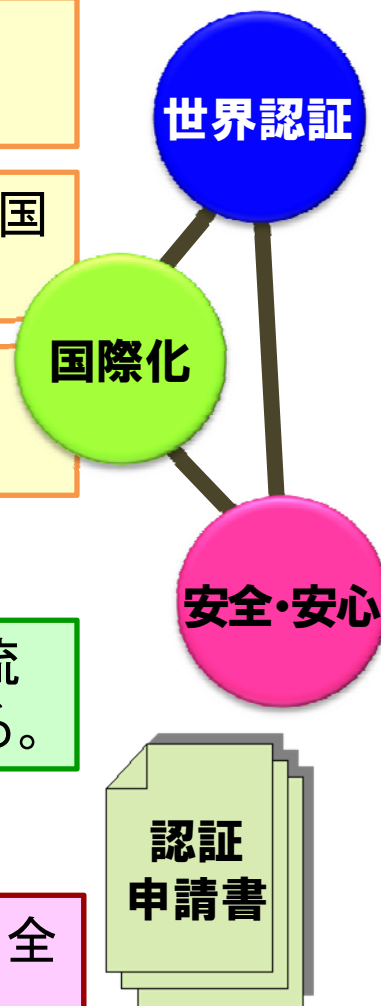
- セーフコミュニティは世界的な制度であり、認証取得は、安全・安心を推進する国際的なネットワークの一員となること。

- 外国人が多い(7.3%)豊島区の認証申請にあたっては、外国人にとっての「安全・安心」も重視すべき視点である。

- さらに、来年度、80周年事業として、アジア地域の「セーフコミュニティ国際会議」の豊島区への誘致を進めている。

- 12月の認証申請書では、外国人への情報提供や民間交流をはじめ、国際化に取り組む姿勢をアピールする必要がある。

- 国際化施策の現状と課題について、関係部課と協力して、全庁的な整理を行い、本部に報告する。
- 対策委員会報告や認証申請書に、国際化の視点を盛り込む。



●平成24年の認証取得に向けて



22年 (2010)	2月 3月 5月 10月 11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ● セーフコミュニティ取組宣言 WHOに準備段階都市として登録 セーフコミュニティ推進協議会の設置 セーフコミュニティ区民大会の開催 ● セーフコミュニティ基本方針を策定 (重点テーマを決定) 対策委員会の設置、活動スタート
23年 (2011)	6月 9月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前審査 スウェーデンの国際会議に参加 ● 認証申請書の作成、提出
24年 (2012) 想定	2月頭 5月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ● 本審査 指摘事項に対する修正 ● 認証内定 ● 認証式典、アジア地域国際会議

セーフ・スクールについては、認証式は同時期を想定しつつ、9月までに改めてスケジュールの明確化を図る。

**区制施行
80周年**